

## 第4回中国地区高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会島根大会

### 実施要項

#### 1 目的

- (1) アナウンスや朗読、映像作品の発表をとおして中国地方の高校生が交流を深め、中国地区の高校放送活動の活性化を図る。
- (2) 作品や原稿の作成をとおして自らの郷土の課題や魅力に気づき、理解を深める。
- (3) アナウンスや朗読、ナレーションによる表現をとおして日本語の美しさや言葉による表現のすばらしさについて認識を深める。

#### 2 主催 中国地区高等学校文化連盟 島根県高等学校文化連盟 鳥取県高等学校文化連盟 岡山県高等学校文化連盟 広島県高等学校文化連盟 山口県高等学校文化連盟

主管 島根県高等学校文化連盟放送専門部

後援 島根県教育委員会

#### 3 大会日程

平成31年2月2日(土) 10:00～ 2月3日(日) 14:30

#### 4 大会会場

(1日目) 会場名：島根県立出雲工業高等学校  
所在地：〒693-0022 島根県出雲市上塩冶町420  
連絡先：TEL (0853) 21-3131

(2日目) 会場名：大社文化プレイス うらら館  
所在地：〒699-0711 島根県出雲市大社町杵築南1338-9  
連絡先：TEL (0853) 53-6500

#### 5 大会運営

第4回中国地区高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会島根大会実行委員会

会長 島根県高等学校文化連盟放送専門部会長 吉田彰二

島根県立大社高等学校 〒699-0722 島根県出雲市大社町北荒木1473番地  
TEL (0853) 53-2002 FAX (0853) 53-2244

大会事務局

事務局長 川上明美

島根県立平田高等学校 〒691-0001 島根県出雲市平田町1番地  
TEL (0853) 62-2117 FAX (0853) 62-0020

【大会日程等詳細案】

7 大会日程詳細

平成31年2月2日(土) 10:00 ~ 2月3日(日) 14:30

日	時間	概要	会場	
2日 (土)	10:00~11:50	総合受付・出場者受付	昇降口	
	10:30~11:30	運営委員会・審査委員会		
	12:00~12:10	開会行事 ・開会のことば ・諸連絡	各審査会場	
	12:10~14:10	アナウンス部門予選 (50人)	視聴覚教室	
	14:20~17:10	朗読部門予選 (50人)	視聴覚教室	
	12:10~15:10	ビデオメッセージ部門 (25本)	大会議室	
	15:20~17:00	オーディオビジュアル部門 (15本)	大会議室	
	17:15~18:00	校内放送活動研究集会① ・番組部門講評 ・アナ・朗読講座	各審査会場	
	3日 (日)	9:00~9:20	開会行事	だんだんホール
9:20		決勝進出者発表	だんだんホール	
9:20~9:35		決勝出場受付		
9:35~10:00		ビデオメッセージ部門決勝 (4本)	だんだんホール	
10:00~10:20		オーディオビジュアル部門決勝 (3本)		
10:25~11:40		朗読部門決勝 (15人)		
11:40~12:30		アナウンス部門決勝 (15人)		
		昼休憩		
13:30~14:10		閉会行事 ・アナウンス・朗読部門講評 ・成績発表ならびに表彰 ・模範演技 (各1人) ・主催者挨拶 ・次期開催県挨拶 ・閉会のことば	だんだんホール	
14:10~14:30		諸連絡・作品返却・原稿返却		
14:30~16:00	撤収作業			

8 コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部門	エントリー数	模範演技
アナウンス	50名 (各県10名以内)	1名
朗読	50名 (各県10名以内)	1名
オーディオビジュアル	15校 (各県3校以内)	
ビデオメッセージ	25校 (各県5校以内)	

9 表彰

部門 賞	アナウンス	朗読	オーディオビジュアル	ビデオメッセージ
優勝	1名	1名	1校	1校
	優勝杯 盾 中国地区高等学校文化連盟・中国地区高文連放送専門部 賞状			
準優勝	1名	1名	1校	1校
	盾 中国地区高等学校文化連盟・中国地区高文連放送専門部 賞状			
第3位	1名	1名	1校	2校
	盾 中国地区高等学校文化連盟・中国地区高文連放送専門部 賞状			
優良	決勝進出者	決勝進出者		
	賞状			
奨励 (全参加者)	全エントリー			
	賞状			

※ アナウンス朗読部門の決勝進出者については15名とする。但し決勝進出者に各県の1名が入っていない場合は、各県の予選最上位の生徒を決勝進出者に加える。

10 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と鳥根県や中国地区各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。内容については、記念講演等を含めて検討する。

## 11 各部門の課題・参加規定

### (1)アナウンス部門

- ① ① 本校や郷土のニュースや解説などを高校生に向けて発信する内容とし、原稿は自作したものに  
限る。

※本大会で発表したアナウンス原稿については、NHK杯での発表は不可とする。

- ② 番号・氏名を含め1分30秒以内でアナウンスする。

#### ③ 審査基準

(a) ①に沿った放送に使用する内容であること。

##### (b) 審査の視点

###### i. 内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。

(イ) 文章表現は適当であるか。

###### ii. アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声・発音・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える表現ができているか。

・内容把握・イントネーション

・プロミネンス・アクセント

(ウ) 間（ポーズ）は適切か

・テンポ・ポーズ

(c) 採点…点数は100点法の1点刻みで採点する。

### (2)朗読部門

- ① 郷土（所属する学校のある都道府県内）にゆかりのある作家の作品、または郷土を舞台とした作品の中から原文のままを一部選んで原稿とし、発表する。

- ② 番号・氏名・作者名・作品名を含め、2分00秒以内で朗読する。

#### ③ 審査基準

(a) 審査の視点

##### i. 内容

(ア) ①に沿って作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

##### ii. 朗読の技術

(ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。

・発声・発音・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える表現ができているか。

・内容把握・イントネーション

・プロミネンス・アクセント

(ウ) 間（ポーズ）は適切か

・テンポ・ポーズ

(b) 点数は100点法の1点刻みで採点する。

### (3)アナウンス・朗読に共通する事項

- ① 原稿内容を所定のテキストデータで各校が作成

し、作成したデータを各県の事務局が取りまとめ、12月25日(火)までに提出する。

- ② 提出されたデータは返却しない。

- ③ 決勝では、各自の原稿の他に、課題原稿を加える。

### (4)オーディオピクチャー（AP）部門

- ① 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にする。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない。

- ② 作品は5分00秒以内とする。

- ③ ステレオ音声を主とし、デジタル静止画像（25画像以内）を併用できる。

#### ⑤ 審査基準

(a) ①に沿った内容であること。

(b) 審査の視点

##### i. テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点でテーマを理解し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

##### ii. 制作技術

(ア) メディアの選択は適切か

(イ) 制作手法

(ウ) 取材の方法や努力

(エ) 企画・構成

(オ) 演出・編集

(カ) 内容伝達力

(キ) 音声や効果音、画像などの使い方

(c) 採点…点数は

100点法の1点刻みで採点する。

### (5)ビデオメッセージ（VM）部門

- ① 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にしてください。ドキュメンタリー形式・ドラマ形式など手法は問わない。

- ② 作品は5分00秒以内とする。

- ③ 本校オリジナルのビデオ作品とする。

- ④ テレビ局等の第三者が撮影した素材が主である作品は失格とする。

#### ⑤ 審査基準

##### i. テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点でテーマを理解し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

##### ii. 制作技術

(ア) メディアの選択は適切か

(イ) 制作手法

(ウ) 取材の方法や努力

(エ) 企画・構成

(オ) 演出・編集

(カ) 内容伝達力

(キ) 音声や効果音、映像の使い方

(c)採点…点数は 100 点法の 1 点刻みで採点する。

## (6)番組部門の規格・提出について

### ①オーディオピクチャー（AP）部門

(ア)ステレオ音声と静止画像（25 画像以内、ただし、暗転画像は数に含まない）を一つの映像データにまとめた作品とする。

(イ)静止画像使用時のズームイン・ズームアウト、静止が切り替え時のビデオトランジション等のエフェクトは使用しないものとする。

(ウ)作品は拡張子が mp4（H.264 コーデック、アスペクト比 16:9）のデータ形式で DVD-R または CD-R に保存して提出すること。

(エ)作品本編の前後に 5 秒間の静止画によるテストパターン（形式自由）を録画すること。

(オ)作品のバックアップは原則不要とする。

### ②ビデオメッセージ（VM）部門

(ア)作品は拡張子が mp4（H.264 コーデック、アスペクト比 16:9）のデータ形式で DVD-R または CD-R に保存して提出すること。

(イ)作品本編の前後に 5 秒間の静止画によるテストパターン（形式自由）を録画すること。

### ③共通事項

(ア)高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒に限る。

(イ)所定の様式の台本 1 部と、作品を収めた DVD-R または CD-R 1 枚を、各県事務局が取りまとめ 12 月 25 日（火）までに、提出する。

(ウ)番組作品概要を所定のデータ形式で各校が作成し、作成したデータを各県の事務局が取りまとめ、12 月 25 日（火）までに提出する。

## (7)留意事項

①著作物等に関して、権利者の許諾が必要な場合は、出場各校で必要な手続きをする。

著作権の処理に関して「その対応に神経質になりすぎて番組制作の自由度を縛り、時間を浪費すること」は、本大会を開催する本意ではない。しかし、大きな時代の流れの中で、著作権を無視することはできないという現実もある。

著作権処理については、各校の責任において、「適切に処理」して参加すること。その目安としては、音楽・絵画・写真等、一般的に著作権が保護されるという概念が確立している著作物に対して、権利者の許諾を示す証拠書面を添付すること。

特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いるのが望ましい。

著作権処理が必要な著作物については、その一覧を台本及び原稿に添付して提出する。

②JASRAC への手続きおよび支払いは各校で行い、その書類の写しを台本に添付して提出する。

③各部門とも提出した原稿および作品は、NHK 杯全国高校放送コンテストには参加できない。

④本コンテストの運営及び審査員は中国 5 県が協力して行う。

## 12 参加資格

①開催年の 2 月現在、中国各県の高等学校と高等専門学校、特別支援学校の高等部に在学する生徒（ただし最終学年を除く）、およびその生徒が制作した作品であること。

②各部門への参加は、各県高等学校文化連盟の推薦によるものとする。

③アナウンス・朗読部門への参加は、1 名 1 部門とする。

④番組部門への参加は、1 校 1 作品とする。ただし、各県大会までの参加は 1 校 1 作品に限定しない。また各県のエントリーが規定の推薦数に満たない場合は、1 校 2 作品までの中国大会参加を認める。

## 13 各県からの推薦について

詳細は各県事務局宛連絡にて知らせます。

①各県からの推薦は、HP からひな形をダウンロードし、必要事項を入力して、平成 30 年 12 月 25 日（火）17:00 までにメールに添付して提出する。

②アナウンス・朗読原稿、番組作品概要のデータは、12 月 25 日（火）17:00 までにメールに添付して提出する。

③推薦には別紙のエントリー番号を使用する。

④申込みは、各県事務局が一括して本大会実行委員会事務局へ提出する。

※学校・個人からの個別の受付はしない。

## 14 大会参加費および研修資料代、著作権に関する使用料他

①JASRAC への支払い手続きについて

各校（各県）がそれぞれ支払いを行う。

②エントリー料

大会参加費および研修資料代として、全部門とも 1 名もしくは 1 作品につき 3000 円とする。納入は各県の事務局を通して県単位で一括納入する。

納入期限：12 月 27 日（木）

口座番号：別紙事務局宛文書参照

また、各県より大会運営負担金として、20,000 円を納入する。

納入期日：平成 30 年 8 月 2 日（水）

全国高等学校総合文化祭理事会にて納入

15 エントリー以降の日程について

第4回中国地区高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会島根大会に関する情報提供については、下記のホームページを利用する。

<http://koubunren32.jp/newpage>

島根県高等学校文化連盟

(中国地区放送コンテスト関連情報)

16 各県からの審査員・運営役員の派遣について  
各県理事を通じて、各部門審査員及び運営委員の派遣を依頼する。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

17 エントリー番号表

	アナウンス部門	朗読部門	オーディオ・ビジュアル部門	ビデオメッセージ部門
鳥取	2, 7, 13, 17, 22, 27, 33, 36, 44, 48	2, 7, 11, 16, 22, 26, 35, 37, 42, 48	5, 8, 14	5, 8, 11, 18, 25
岡山	3, 8, 15, 16, 23, 29, 32, 38, 42, 50	3, 8, 12, 20, 23, 29, 32, 38, 44, 49	4, 6, 11	4, 10, 13, 17, 23
広島	4, 9, 12, 18, 21, 26, 31, 39, 45, 49	4, 9, 14, 19, 21, 28, 33, 36, 45, 47	2, 10, 15	3, 9, 12, 19, 21
山口	5, 10, 14, 19, 24, 28, 34, 37, 41, 47	5, 10, 13, 18, 24, 27, 34, 40, 41, 46	3, 7, 13	2, 7, 14, 16, 22
島根	1, 6, 11, 20, 25, 30, 35, 40, 43, 46	1, 6, 15, 17, 25, 30, 31, 39, 43, 50	1, 9, 12	1, 6, 15, 20, 24
合計	50名	50名	15校	25校